

バイオマス取組事例概要

(農村振興局長賞)

中四国

- 応募主体 特定非営利活動法人 森のバイオマス研究会
- 都道府県・市町村 広島県庄原市
- 取組分野 木質バイオマス(ペレットストーブ)

取組概要

ペレットストーブの導入・普及及びペレット生産システムの導入。

広島県北地域の森林の保全・整備事業を進め、バイオマスのエネルギー等への有効活用を研究するため、平成14年に「庄原森のバイオマス研究会」を設立し、平成15年にNPO法人とし、研究会・シンポジウム等情報の収集・発信と市民へのPR、木質バイオマスの利用方法や地域資源を利用した地域づくりの調査研究等を行っている。

特にペレットストーブの普及やペレット生産システムの導入に向けた支援活動、コジェネ型チップボイラーや導入に向けての調査、企業との連携によるバイオマス燃焼機器の開発等を実施し、2002年からペレットストーブの普及を開始し、2004年時点で70台に普及している。2004年に小型ペレット製造機を導入し、製材廃材賦存量年間8,319tの14%に当る1,200tをペレット製造に使用している。現状、ペレットの製造が間に合わず、外部より一部購入している。

また、ペレット製造プラントだけでなく、コジェネ型プラント等の導入の検討を開始している。



ペレットストーブ

ペレタイザー
(ペレット製造機)



ペレット